



SSKW

moderato

社会福祉法人藤沢育成会

2002年4月23日 第3種郵便物認可(毎月3回5の日発行)
2018年3月13日発行 SSKW 増刊通巻4448号

【モーダート:中くらいの速さで(音楽用語)】

Vol. 76



- これまでも これからも 藤沢に笑顔を
～各事業所施設長・所長、2018年度の抱負を語る～ …… P2-P3
- 【特集】藤沢育成会の昔と今を語ってください！…… P4-P6
【30周年記念シリーズ④】
- 「Samu's Voice」：理事長コラム …… P7
- 「ますます華麗に 節子の部屋」：西條節子さんコラム …… P7
- 「あっと！」表紙解説 …… P8

『あっと！』 日常の中で見つけたアート



ビーズが沢山入っているケースをいくつか瀬戸さんに渡すと、紐に一つ一つビーズを丁寧に通していきます。

同じ色を通したり、色や形の違うビーズを交互に通したり、瀬戸さんが自分で手に取って選び、集中して行っています。

カラフルで綺麗な、ながーいビーズ通しの出来上がりです！（湘南ゆうき村 山口 茜）

作業の後は、「ビーズやる」とスタッフに伝えてこられる瀬戸さん。

PROFILE
瀬戸貴英さん
湘南ゆうき村

●編集／いつわ会【(社協)藤沢育成会 施設利用者家族会】
●〒251-0016 藤沢市弥勒寺2-7-13 (湘南あおぞら内) TEL0466-25-5551 FAX0466-25-5556
●責任者／石川 修
●(住協)藤沢育成会URL ◇ <http://www.fukusei.or.jp/>

●発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21
●特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会
●定価50円

これまで これからも 藤沢に笑顔を 各事業所施設長・所長、2018年度の抱負を語る

節目の年を迎えて

湘南あおぞら施設長・サービスセンターばる所長

倉重 達也

今年度は法人設立30周年の記念の年です。そして湘南あおぞら、サービスセンターばるは設立20年目の年になります。

前号の「30周年記念シリーズ③」にもあるとおり、1998年4月に入所施設の湘南あおぞらが開設した際に、その3階の部屋を間借りする形でサービスセンターばるが同時に開所しました。

その当時は既に入所施設から在宅支援への流れが始まっており、湘南あおぞらは、より個別化やプライバシーを配慮した作りにしたり、グループホームへ移行しやすいうようにそれに模した棟を作ったりするなどいろいろな工夫がされています。短期入所の定員も4名から6名に増やしました。

サービスセンターばるは業務の拡大とともにあおぞらの場所が狭になりました。2005年から事務所を現在の場所に移しサービスを展開しています。その辺の経緯は前号に詳細が記されています。

さて、そんな節目の年ではありますが、積み重ねてきた歴史に安住することなく、これからも時代の変化、ニーズに敏感に対応していきたいと思います。

具体的には、入所施設である湘南あおぞらは地域移行を促進すること、サービスセンターばるは地域移行の受け皿としてグループホームを2か所増設すること、さらには在宅での生活を支えるヘルパー部署、子ども支援部署の充実を図っていきたいと思います。



明日への取り組み

2018年度は法人設立30周年にあたる節目の年です。記念行事として、8月25日にインクルサマーフェス、10月6日に講演会、11月20日に記念式典を行います。

今年度より、事務局の連携を強化し円滑な遂行を目指すため、一部機能をサービスセンターばるに移転し、次の取り組みを行います。

◇ネクストプランIIを再編成し、みらい社・セシリ亞建築準備会（仮称）の創設、サービスセンターばる・本部機能の再編成、よし介工芸館・湘南ゆうき村・湘南あおぞら施設の建て替えに関する検討を行います。また、昨年7つだったプロジェクトを6つに再編成して取り組みます。

◇法人理念の実現に向けて、法人本部の重点業務として、新人事制度の運用、会計の明確化・体制整備、諸規定の整備、専門分野の強化に努めます。

◇職員の人材育成、広報活動の充実、後援会「いづみ」との連携、家族連合会「いつわ会」との連携を行い、未来にむけた事業の実現につなげたいと思います。

決意を新たに

今年度よりよし介工芸館と湘南だいちの両施設に赴任することとなりました。あらためてどうぞよろしくお願い致します。両施設とも初めて赴任する事業所なので楽しみでもあります。不安もありますが、決意を新たに臨んで参りたいと思います。

よし介工芸館で作られる作品・製品の素晴らしさには、以前より感銘を受けておりました。また2016年4月にアートスペースわかくさが開所してから2年が経ち、作品作りの拠点としてより一層の期待を寄せられることがと思います。黒崎義介先生の精神を受け継ぎ、楽しく、開かれた居場所としてご利用頂けるようにしていきたいと思います。

また、湘南だいちについてはちょうど設立5年目という節目に赴任することとなりました。いとぐるま・ぶれっじ・はんもくという複数事業を運営しているので、当初は覚えることで精一杯になってしまふかと思いますが、頭をフル回転させて頑張っていきたいと思います。

昨年度まで在籍していた湘南セシリ亞・みらい社は2年間で異動ということになり、個人的にはあつとう間であったと感じております。そしてこの2年間、多くの方々に出会い、ご理解・ご協力・ご支援頂いた事にあらためて広く感謝申し上げたいと思います。

今年度は藤沢育成会創設ならびに湘南セシリ亞設立30周年を迎えます。30周年という節目を契機に更に皆様により良いサービスをお届け致します。よろしくお願い致します。

法人本部事務局長 石塚 和美

伏見 康一

2

今年度も相談支援プラザと湘南ゆうき村の施設長を担当することになりました。それぞれの事業所の今年度の重点的な方針は次のとおりです。

■相談支援プラザ ■

藤沢市内の障害のある方、高齢者の方の相談支援事業所として次の重点的な方針に取組みます。

1. 地域で相談を必要とするあらゆる人に相談を届けられるよう、組織体制、人員体制の整備・強化に取り組みます。
2. 「ふらっと」「六会地域包括支援センター」がそれぞれの専門性や強みを活かし、地域や利用者のニーズに柔軟に応えられるよう相談支援のスキルや質を高めます。
3. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律」および「介護保険法」、関連法を遵守し、制度の動向理解に努めると共に、その周知を行ないます。
4. 地域の人や事業所等と協同、連携して支援を必要とする人を支えていくよう、地域の困りごとの共有、つながりづくり、障がいや相談支援についての理解促進に取り組みます。

以上です。今年度も、藤沢市内のサービス事業者や地域の方々の繋がりを通して、「地域の支援力」向上と「豊かな地域づくり」を目指し事業を推進いたします。

■湘南ゆうき村 ■

「人を大切に、人に丁寧に・心と体を整えて」昨年度に引き続き今年度の湘南ゆうき村のテーマです。今年度の重点項目は次のとおりです。

1. 個別支援計画にそった支援を展開するため必要な情報の収集と共有を強化し実施します。
2. 多様なニーズに柔軟に対応するため、支援・介護技術等の専門性を高めます。
3. 人材育成の強化のため計画的な研修を実施します。
4. 湘南ゆうき村新聞による情報発信などを実施します。

以上です。西俣野地区を中心に、藤沢市内の地域の拠点、地域に愛される施設を目指して事業を展開する所存です。

河原 雄一

3

2018年度より、湘南セシリ亞とみらい社の施設長になりました佐藤です。実はみらい社の施設長は2度目です。以前みらい社で施設長になったのは2006年の春。障害者自立支援法が施行された年でした。当時は日本全体が不況の真っただ中にあり、大学を出ても就職がないという時期で「派遣切り」という言葉も確かにこの頃だった様に記憶しています。

そのころに比べれば景気も上向きなのかも知れませんが、決して就労の状況は改善されているとは言い難い状態です。いずれにせよ久しぶりの就労系事業なので変化にしっかりと対応していきたいと思います。

湘南セシリ亞に至ってはおよそ25年振りになります。湘南セシリ亞を離れる頃には「たまごっち」なるものが大ブームっていましたから時代を感じさせますよね。もちろんその頃のやり方が通用するわけではなく一からの出直しになります。懐かしさもありますがむしろ新しく、新しいものにチャレンジする気持ちで取り組みたいと思っています。まだまだ発展途上の私ですが、たくさんの遊び盛りがあると信じて取り組んでいきたいと思いますので皆様、よろしくお願ひいたします。

佐藤 貢

3



藤沢育成会の昔と今を語つてください！

特集

みらい社 1991年設立
■事業▼就労移行支援／就労継続支援B型



サービスセンターぱる 1998年設立
■事業▼共同生活介護／居宅介護／行動援護／放課後等デイサービス



『ぼくのすごしかた』
木村正樹さん (ソレイユ)



『みらい社創設時から勤続28年目の大ベテラン』
桜井慎一さん



『みんな頑張ってますよ！』
水越陽子さん

——いつからGHに居ますか？
「10年くらい。えっと最初は黒崎ホーム。
ここ(ソレイユ)の前は黒崎ホーム。」

——黒崎ホームの時の思い出はありますか？
「あー、結構職員の人って代わるから。異動とか。あとは、そのころはちょっと来たばっかだから良くわからない。」

——普段どんな過ごし方をしていますか？
「テレビ見たり。スポーツとか見る。」

——今オリンピックやってますよね？
「見ます。高木美帆って結構勝ちましたよね。」

——楽しいことってありますか？
「…」

——一眼しに出るのは？
「楽しいですよ。寝る前とか朝とか。ベランダで吸います。」

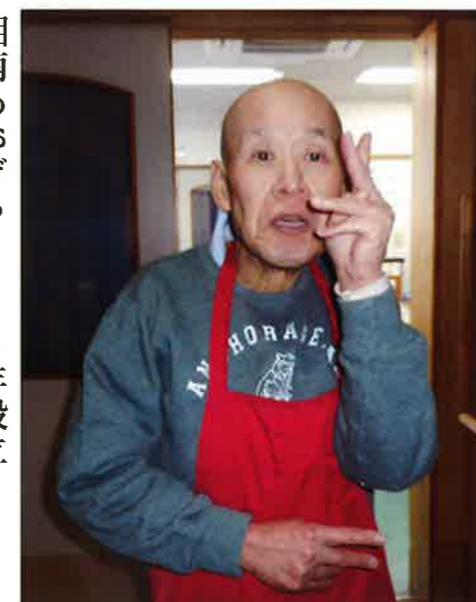
——食事は美味しいですか？
「美味しいですよ。黒崎の時はお魚料理が多かった。」

——これからやりたい事ありますか？
「…。これからも今と変わらない生活を続けたい。」

30周年記念シリーズ④



『しごとのへやが変わった！』
小西孝明さん



『昔…今…そしてその先を目指していきたい』
西久保好子さん

最初はセシリ亞だったの。友達と仲良くできるかとても大変だったの。私の髪型が短かったから男の子と思われたみたい。「女の子だよ」と言いたら、色んな人(友達・支援員)が声掛けてくれたの。建物を見た時、最初教会みたいで素敵だったわよ。昔からの友達はSさん。実習をしたくてよし介に来たの。とっても楽しいし、今も友達やその家族が色々話しかけてくれるのが嬉しいわ。60周年にまた語りたい。よし介で60周年やりましょう。



よし介工芸館 1986年設立
■事業▼生活介護

居宅介護／訪問介護

湘南ゆうき村 1995年設立
■事業▼生活介護／地域密着型通所介護



小西さん、今日はお話をよろしくお願いします。
「よろしくー」
むかしのあおぞら覚えてますか？思い出があれば聞かせてください。
「覚えてる！こっちで、木工のお部屋でSさんとMさんといったよ、ここ。
こっちのほう。(作業室1を指さす) そうそう1で。アルミやってたの。そうそう、奥で。」
いまのあおぞらはどうですか？
「いい！よかったよ」
未来はどんなことしたいですか？
「やりたいこと！カラオケ！あと買い物！」「しごといつくる、じゃ」
ありがとうございました。

湘南あおぞら 1998年設立
■事業▼施設入所支援／生活介護／短期入所

藤沢育成会の昔と今を語つてください！

特集

■事業
▼施設入所支援／生活介護／短期入所
湘南セシリ亞 1989年設立

——今日は湘南セシリ亞の今と昔を聞かせていただきます。よろしくお願ひします。
「よろしく……」
——初めてセシリ亞に来たとき、何か驚いたことや印象に残っていることはありますか？
「…………（思案中）…………、風呂」
——お風呂ですか？
「はい」
——お風呂がどうだったんですか？
「大きい」
——確かにセシリ亞のお風呂は銭湯みたいに大きくて良いですよね！
「ああ、良かったあ～」
——昔は泊りの旅行もあったと聞きましたが、覚えていますか？
「あ～、……鎌倉、行った」
——鎌倉に行ったんですね。
「楽しかったなあ～」
——では、今度はこれからセシリ亞でやりたいことはありますか？
「本、買に行く！」
——本ですか、良いですね。
「行ってくる」（居室から出していく）
——え？！はい、ありがとうございました。

『セシリ亞は風呂が大きい』
寺島正雄さん



『始まりと私、友達』相澤佳世子さん



■事業
▼生活介護／短期入所／児童発達支援センター
湘南だいち 2014年設立

始め、小さな子供たちが一緒に建物にいる事が不思議だった。初めてだったから。今は、それが当たり前になった。見慣れてきたから。だいちは全部含めていい。前は、染め物をして白いものが色々な色に染まっていくのが面白かった。これからは、だいちで個展をする事をもっと増やしたい。初めは緊張しちゃうけど。だいちで個展をしたお友達も緊張したんだと思う。機織りと美文字の練習を展示したい。あと、前に作ったフォトフレームも作って飾りたい。だいちのショップで、レジ打ちは好きで頑張った。お客様がいっぱい来てパンが売れた時はうれしい。だいちに来てお友達とお話し出来た時が一番楽しい。

Samu's Voice 13

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



半世紀の「いんくる藤沢」

半世紀前、初めて知的障害児施設を行った。障害児者は施設にいるものと信じて疑わなかった頃でガラクタ処分の仕事だった。施設の子どもには会えなかった。同じ頃“インクルージョン”を目標に知的障害児の親たちが全国的にもまれな運動を始めた。それが“地域作業所”や“グループホーム”になった。県内あちこちに胎動があった。藤沢の親たちは20年後、社会福祉法人を取得し、今年5月に12か所目のグループホームをスタートするまでに育った。事業所はすべて市内にあり、利用者たちは街で暮らして

いる。日中活動だけでなく余暇活動にも先駆けてサービス展開した。当初に比べれば多く社会との接点もある。“いんくる藤沢”は、確実に進化したがまだ本物のインクルージョン藤沢ではない。いや、時代と共に変化するのだから、ずっと完成形はないかもしれない。それでも半世紀の歩みが証明するように確実に進化している。だが、変化させなければいけないことがまだまだある。これからも当時のように当事者感覚がエネルギーにならなければならない。なぜなら、当事者に似合わないサービスは“絵に描いた餅”だから。今年は法人設立30周年。新たな時代の幕開けとしたい。



ますます華麗に 節子の部屋

藤沢育成会後援会『いづみ』会長
西條 節子

～笑いありの茄子の花～

始めた頃の星の村では、収穫が早いとのことで茄子を植えたの。でもね、職員よりも皆さんが早く出勤するもんだから、泥がついていたりする花を摘んでしまうのです。あとからきた職員に嬉しそうに「汚い花をとっておいたよ～」と花を見せてくれるのです。まだ花のあとで実がなることを知らないのですよね。だから仕方ない。

職員は残念だったけれど、「なるほど～」と大笑い。「お花はどっちや駄目ね」と約束をして残った花から収穫した茄子を近所の方に分けていったの。そうしたらお小遣いをくれる方もいて、みんなはその時にお金のことを知ったのかなあ。

茄子のほかに、大根やトマト、玉ねぎ、いんげん、菜っ葉やレタスなどを一生懸命作っていたのよ。ちょっと反対していたご近所の方がたくさん買って下さるようになっただけでなく、「おいしいのよ」と宣伝もしてくれるようになりました。当番をつくって市役所にも行商しにも行ったのです。

そうそう大根も大きくなる前にぬいちゃって「小根（しょうこん）だあ」と笑うこともありました。

後援会いづみ 総会のお知らせ

日時：平成30年6月12日（火）午前10時30分～12時30分まで

会場：藤沢商工会館ミナパーク 5階 502 会議室
〒251-0052 藤沢市藤沢 607-1

内容：第一部 ▶ 総会 / 第二部 ▶ 石川理事長と語りあう会
「福祉の動向と藤沢育成会 part2」

問い合わせ：0466-25-5551 倉重達也